（№　L-2021-007）

CI-NET LiteS実装規約改善要求書（CHANGE REQUEST）（案）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発信者記入欄 | | | | | | | 事務局記入欄 | | | | | |
| 発　信　日　　2021年　6月8日 | | | | | | | 受　信　日　　　　年　　　月　　　日 | | | | | |
| 会 社 名 | | | | | | | 反映対象バージョン： | | | | | |
| 企業識別コード |  |  |  |  |  |  | Ver. | 2 | . | 2 | ad. | 0 |
| 部 署 名　LiteS規約WG | | | | | | | 事務局処理記入欄 | | | | | |
| 担当者名 | | | | | | |
| TEL:  連 絡 先  FAX: | | | | | | |
| 件名　新設データ項目のマルチ明細項目番号 | | | | | | | | | | | | |
| ◎ 改善要求内容（問題点、改善案、理由について詳しくお書き下さい）  【要求内容】  ＜背景＞  データ項目の新設に際し、CIIシンタックスルール1.51においてマルチ明細項目番号が不足していたため、再配置の必要があった。  （1）改訂項目  新規データ項目のマルチ定義について、建築積算はトランスレータを使用しないため、使用していないマルチ項目明細番号を、活用することとした。その結果、下記の通り既存のマルチ明細項目番号（※）を活用することとした。（FJJ・NECにて確認済）  （2）改訂対象メッセージ  支払通知、立替金報告、立替金確認、契約外請求、契約外請求確認  （3）改訂内容   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | |  | | マルチ項目明細番号 | | | タグNo. | データ項目名 | 変更前 | 変更後 | | 1613 | 今回支払金額内ファクタリング金額内訳 | MA1ﾚﾍﾞﾙ1 | MDﾚﾍﾞﾙ1 | | 1614 | 今回支払金額内ファクタリング支払日内訳 | MA1ﾚﾍﾞﾙ1 | MDﾚﾍﾞﾙ1 | | 1615 | 今回支払金額内ファクタリング決済日内訳 | MA1ﾚﾍﾞﾙ1 | MDﾚﾍﾞﾙ1 | | 1616 | 今回支払金額内ファクタリング金額摘要 | MA1ﾚﾍﾞﾙ1 | MDﾚﾍﾞﾙ1 | | 1630 | 支払通知内容問い合わせ先 | MA2ﾚﾍﾞﾙ1 | MHﾚﾍﾞﾙ1 | | 1631 | 支払通知記載事項摘要 | MA3ﾚﾍﾞﾙ1 | MLﾚﾍﾞﾙ1 | | 1365 | 適用課税分類コード | MA4レベル1 | MNﾚﾍﾞﾙ1 | | 1366 | 適用消費税率 | MA4レベル1 | MNﾚﾍﾞﾙ1 | | 1397 | 適用区分別明細金額計 | MA4レベル1 | MNﾚﾍﾞﾙ1 | | 1398 | 適用区分別消費税額 | MA4レベル1 | MNﾚﾍﾞﾙ1 | | | | | | | | | | | | | |

|  |
| --- |
| ◎ 改善要求内容（問題点、改善案、理由について詳しくお書き下さい）  【要求の理由】  　データ項目の新設に際し、CIIシンタックスルール1.51においてマルチ明細項目番号が不足していたため、再配置の必要があった。  【既存ユーザ等への影響】  　ベンダ社のトランスレータに係るため、システム開発者向けに、広く周知を図る必要がある。 |

（№　L-2021-007）

CI-NET標準ビジネスプロトコルおよびCI-NET LiteS実装規約に係る

改訂チェックリスト

CI-NET標準ビジネスプロトコルおよびCI-NET LiteS実装規約に係る改訂に関して、下記に示す項目についてチェック（○、×）を行い、問題がある場合にはその内容および改善の方向等について「指摘事項等」の欄に記載するものとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 審議･検討日 | 2021年6月8日 |
| 審議機関 | （委員会／WG名等を記載）  標準委員会／LiteS規約WG |

|  |  |
| --- | --- |
| 改訂内容 | （提案者、対象メッセージ、新規項目名称・摘要等を記載）  ・新設データ項目のマルチ明細項目番号 |

| チェック項目 | | ﾁｪｯｸ | 指摘事項等 |
| --- | --- | --- | --- |
| 1.既存ユーザへの影響度合い | ①実稼動しているシステムの改修度合 | △ | 実稼動しているシステムの改修が必要である。 |
| ②業務の見直し、変更への影響度合 | ○ | 従来業務からの変更は特に生じない。 |
| ③いずれのユーザの負担が大きいか | △ | 発注者、受注者ともに、システムの改修が必要である。 |
| ④及ぼす影響の具体的な範囲や内容が見えているか否か | ○ | 及ぼす影響の範囲は明確化されている。 |
| ⑤即時の対応が可能か否か | △ | 各EDIサービスおよびユーザ社内システムなどにて対応準備が整えられた後の対応となる。 |
| ⑥立場の違いなく対応が可能か否か | ○ | 立場の違いによる対応の差異は特にない。 |
| 2.各社固有の業務要件か | ①他ユーザの賛同の有無 | ／ |  |
| ②業務の変更による対応可否の検討有無 | ／ |  |
| 3.印刷要件か | ①各社の帳票出力に依存する項目が否か | △ | 請求書の帳票出力レイアウトに変更を生じるため、併せてシステム改修が必要である。 |
| 4.二重要件か | ①他項目での類似機能がないか | ○ | 他項目での類似機能はない。 |
| 5.定義の明確化 | 1. 類似項目との違いは明確か | ○ |  |
| ②規約全体を通して定義を明確にしているか | ／ |  |
| 6.改訂の緊急度 | ①即時対応の必要性の有無 | △ | 即時対応が必要となる。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 審議結果 | (単に承認／非承認だけでなく、そのような結果となった理由等も記載)  ＜承認＞2021年度標準委員会第1回(2021/06/10)  当CRの内容に意見がないため、承認。 |
| 今後の対応 | (上部審議機関への申し送り事項／差戻しの場合の再審議ポイントの提示など) |

|  |
| --- |
| 【チェック欄の凡例】  ○：問題なし  △：やや問題あり／指摘事項に対する配慮があるとよい  ／：対象外／該当しない  ×：問題あり／指摘事項への対応が必要 |